

2025 年度 特待入試

第 1 回

国 語

[注意事項]

- 1 問題は一から四までです。
- 2 時間は 50 分です。
- 3 下敷きおよび電算機つきの時計の使用を禁止します。
- 4 解答は、濃くはっきりと書くようにしてください。
- 5 開始の合図があるまで問題用紙を開かず、手を触れないでください。
- 6 試験中はよそ見をせず、きちんとした態度で行ってください。
- 7 何か物を落としたら、黙って手をあげてください。
- 8 他の受験生に迷惑となるような行為をしないでください。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

次の文章の筆者は、自身も小説家であり短編小説の文学賞の選考委員をつとめたことのある人物です。次の文章は、小説家を志す人々に対して、筆者自身が小説を書いてきて気づいたことや考えたことについて伝える目的で書かれたものです。なお、文中で作例として引用されている文章は、筆者自身が作成した文章です。

さて、構成は立てました。つまり、どんなお話を書きたいのか、おおまかな道筋は見えた。次に考えるのは、「＊にんしょう人称」かなという気がします。

もちろん、考えなきゃならんことはほかにも山ほどあります。「魅力的な登場人物にするには、どうしたらいいか」とか。しかし登場人物にまつわること（性格やセリフ）は、率直に言って好みの部分が大きい。

作者が、「ドヤ！ この主人公ならモテるのも納得だろう！」と思って書いても、必ずしもすべての読者の同意を得られるとはかぎりません。「ええー、なんか自分勝手な主人公で、やだ」「こんなやつがモテるなんて世も末だ」^①など、絶対に異論が出てくるものです。当然と言えば当然で、全人類からモテモテの人間などないのと同様、登場人物に対する好みや受け止めかたも、ひとそれぞれ。たとえ架空の人物であっても、「万人受けする人間」などいないということです。

登場人物の性格づけやセリフには、作者の好みや感性が出やすいし、その登場人物を「いい」と思うか「やだ」と思うかもまた、読者の好みや感性によるところが大である。つまり、理屈や理論でどうにかするのがむずかしい部分のような気がするんですよね……。

私もこれまで、「こういう男性（あるいは女性）って素敵だわ」と思って書いた登場人物が、いまいち読者のかたにピンと来ていただけなかった、という経験がちらほらあり、自身の趣味の特殊性を思い知らされるというか、「すみません、生まれ直してきます」というか、もうトホホです。

^② それに比べると、『「人称」をどうするか問題』は、

I

部分だと思っています。戦略の練りどころ、ということです（もちろん一部の天才は、戦略など練るまでもなく、書きたい物語にぴったりの人称を本能で選び取れるのでしょうけれど）。

「どういう人称がふさわしいか」を考え抜いたうえで小説を書くことによって、物語と登場人物をより輝かせられるのではないかと私は思っています。好みや感性に委ねられる比重が大きい「登場人物の魅力」を、理屈と理論がものを言う「人称」の選択を通し、底上げすることが可能なのです。

以下は、私が人称についてざっくりと、「こういう特徴があるかな」と思っていることです。（ご参考までに……）

一人称とは。

「私は」とか「俺が」とか、ある一人の人物の視点に基づいて、物語が語られていきます。

一人称は、郷愁や抒情を醸しだしやすい気がします。過去の出来事を振り返る、といった物語のときに、ひととき効力を発揮するということです。

十七歳の夏、私が経験した出来事について語ろう。これから何年生きようと、二度と味わうことはないであろうきらめきと喜び、そして少しの痛みを帯びた、あの夏の出来事について。

ってな感じに。

③ 一人称の弱点は、一人の人物の視点からしか描けないので、どうしても視野が狭くなりやすいところ。物語に閉塞感が出てしまったり、「なんかこの語り手、ひとりよがりだな」と読者に思われてしまったりするおそれがある、ということ。④

「視野が狭くなる」例をひとつ挙げると、一人称では基本的に、語り手の外見について書きにくい。

応募作でよくあるパターンは、「二人称の語り手が鏡を見るシーンで、ついでに自身の外見を説明する」です。しかし、「それはだれに対する説明なんだよ。だれもおまえの外見なんて尋ねてないだろ。毎朝、顔を洗うついでに鏡を見るたび、いちいち『病的なまでに白い肌、湖のように青い目、母譲りの金髪』とか、自分の外見を脳内で説明するひとっているか？」と、読者にツッコまれることを覚悟せねばならないでしょう。

④ 一人称どうしても語り手の外見を説明せねばならない場合、私が思いつくかぎりです。Ⅱ

「おまえ、いつもなまっちょろい顔してんなあ。ちゃんと朝飯食ってきたのか？」

「うるっさいな。ご飯大盛り三杯食べたよ」

「ならいいけど。ま、見ようによっちゃあ、白い肌に青い目が映えて、今日もきれいだぜ」

「死ね、キザ野郎」

「あーあー、髪の毛もぼさぼさじゃねえか。俺が梳かしてやろっか。妹の髪を毎朝編んでるから、慣れてるし」

もはや何百回繰り返されたかわからないアンディとの攻防を、このたびも冷酷なる無視で締めくくった私は、こっそりため息をついた。身勝手に出奔した母を彷彿とさせる、このいまましい髪。こんな乾燥した麦わらみたいな色の髪、アンディに触ってほしくない。私もケイティのように、艶やかな黒髪だったらよかったのに。

ってな感じに。(註…ケイティとは、アンディの妹の名です)

……「ベストな解決策」とはとも思えぬ作例になってしまいました。相当の「手数(細かい段取りや工夫)」を練りださないと、語り手の外見を自然な流れのなかで描写するのがむずかしいということは、なんとなく感じ取っていただけたかと思えます。⑤ 一人称は、わりと不自由な人称なのです。

とはいえ、弱点と利点は表裏一体。 A 叙述トリックを仕掛ける場合、一人称が選択されるケースが多い傾向にあります。これは、一人称の語り手の「語れる範囲（視野）の狭さ」を、逆手に取った戦略と言えるでしょう。一人称だと、語り手が語りたくないことは語らずに（Ⅱあえて情報を伏せて）、話を進めることができるのです。

さて、一人称特有の閉塞感を打破し、物語れる範囲（視野）を広げるためには、どうすればいいのか。「Aさんの一人称→Bさんの一人称→Cさんの一人称」と、章などによって視点人物を変えるのが、ひとつの手です。

B そうすると長編ではなく連作っぽくなったりしますし、一作のなかで「なりきり力」がものすごく要求されるという弊害も生じます。^{*へいがい}「Aさん」「Bさん」「Cさん」三者三様の語り口を、視点人物が変わるつど、書きわけなければならぬからです。

けれど、これもまた、弱点と利点は表裏一体。一人称は、「なりきってしまえば、こっちのもん」とも言えます。視点人物の内面に深く潜^{もぐ}って描写することも、その語り口から視点人物の性格をビビッドに浮かびあがらせることも可能なのです。

ある一人の人物の視点、語りのみを通して物語を展開させるとは、 C、その人物に読者を惹きつけ、没入^{もつづめう}させる力が強くなるということです。一人称の語り手にうまくなりきって書くことができれば、読者が語り手に思い入れ、物語にひたる感覚を味わってくれる度合いが高まるでしょう。

私は基本的に、「登場人物が比較的少人数」で、「繊細かつ微細な心情や関係性を描きたい」と思っていて、なおかつ「短編・中編（せいぜい百枚ぐらいまで）の場合」に、一人称を選択することが多いです。

五百枚を超えるような長編を、視点人物を交代しないまま一人称で維持^{いじ}するのは、不可能ではないでしょうけれど、かなり戦略を練ったうえでの選択でないと厳しい（書きにくい）のではないか、と思います。

理由は、繰り返しになりますが、「一人称の語り手が語れる範囲（視野）は、案外狭い」「そこをクリアしようとする、かなり手数が必要になってくる」「語り手の内面に深く潜って描写でき、語り手に読者をぐっと共感させることが可能だが、それゆえ逆に、物語に閉塞感が生じたり、『ひとりよがりな語り手だな』と思われるたりする危険性も増すⅡ息苦しく濃密すぎる五百枚になってしまおうおそれがある」からです。

^⑦ 一人称の最大の難点は、「この語り手は、いったいだれに向かって、なんのために、どうしてこんなに流暢^{りゅうちやう}に語っているのか」という疑問が生じることです。

三浦しをん『マナーはいらない 小説の書き方講座』より

* 人称……人を指し示す名詞。話し手や書き手を指す一人称・相手を指す二人称・それ以外を指す三人称に分けられる。

* 抒情……感情をのべあらわすこと。

* 閉塞感……閉じふさがっている感じ。閉じふさがっているように先行きが見えないこと。

* 出奔……逃げてゆくえをくらますこと。

* 彷彿……（そこにあるもの）ありありと目に浮かぶこと。

* 弊害……何かをしたために生じる害悪。

* ビビッド……生き生きとしたようす。

* 没入……すっかり入り込んで自分を忘れること。

問一 A C にあてはまる言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ところで イ すなわち ウ しかし エ たとえば

問二 部①「世も末」・③「ひとりよがり」の意味として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- | | |
|--------------|----------------|
| ①「世も末」 | ③「ひとりよがり」 |
| ア 時代が変化すること | ア 深く物事を考えない |
| イ この世の終わり | イ 思いやりがない |
| ウ 流行に乗り遅れること | ウ 決断するのに時間がかかる |
| エ 思いがけない時代 | エ 他人の意見を聞かない |

問三 部②「それ」の指す内容として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「万人受けする人間」などいないということ イ 登場人物の性格づけやセリフ

ウ 読者の好みや感性によるところが大きいこと エ 作者の趣味の特殊性

問四 I に当てはまる語句を十一字で抜き出し、解答らんに入力しなさい。

問五 部④「一人称であっても語り手の外見を説明せねばならない場合、私が思いつくかぎりです」でベストな解決策は『II』ですとありますが、

II に当てはまる「ベストな解決策」の内容をまとめなさい。その際、「語り手」と「外見」という語を用いること。

問六 部⑤「一人称は、わりと不自由な人称なのです」とありますが、これはなぜですか。最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 一人称を用いるには、細かい段取りや制約が多く、相当の工夫があって初めて自然な文体と認められるから。

イ 一人称は一人の人物の視点からしか描けないので、語り手の外見を説明する場合不自然になりやすいから。

ウ 一人称は作者の好みや感性の比重が大きいため、読者に受け入れられるには相当の工夫が必要になるから。

エ 一人称を用いると物語に閉塞感が出るからであるので、自然な形で叙述トリックを仕掛けるのが難しいから。

問七 部⑥「弱点と利点は表裏一体」とありますが、ここでの一人称の「利点」とはどのようなものですか。わかりやすく説明しなさい。

【文章】

この疑問を乗り越える方法は、私が思うに三通りあります。

一、疑問自体を無視する。（『小説の技法、「お約束」なのだからと割り切って、深く考えないようにする。）

二、「手紙」「手記」「なんらかの告白」など、だれかに向かって書いた、または語ったものである、という体にする。

三、右記以外の新機軸しんきじくを打ちだす。

* 新機軸……新しい方式。やりかた。

この文章をふまえ、さくらさんと花子さん、太郎くんは次のように感想を発表しました。

さくら…①のように「疑問自体を無視」して「深く考えないようにする」のは、Ⅲ。

太郎…だからといって③のように新機軸を打ちだすのも、時間がかかって難しそうだね。

花子…その点②の「だれかに向かって書いた、または語ったものである、という体にする」のは一番わかりやすく現実的な乗り越え方なのではないかな。

さくら…今まで意識していなかったけれど、小説の中の人称に注目するのもおもしろいかもしれないね。

【問】 Ⅲ に当てはまることはとして最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 小説を書くのに慣れていれば普通にやっていることなんだろうね

イ 具体的でわかりやすい乗り越え方だね

ウ 本来の意味で疑問を乗り越えたことになるのかな

エ 割り切ることで小説家になれるという筆者のメッセージかもしれないね

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

近年、野生動物がさまざまな方法で治療^{ちりょう}を行うことがわかってきている。キツネザルは腸内寄生虫から身を守るため、かみ砕^{くだ}いたヤスデを使う^{*}ことがある。チンパンジーとオランウータンは傷に湿布^{しつぷ}を貼^はる姿を目撃^{めくげき}されている。そしてついに、フロリダオオアリが「切断手術」を行っていることが、7月2日付けで学術誌「Current Biology」で報告された。ヒトは3万年以上前から切断手術を行ってきたが、動物界では初の事例だ。

フロリダオオアリのコロニー^{*}での生活は、特にほかのコロニーが近くにある場合、危険と隣^{とな}り合わせだ。日没後、近くのアリ同士が戦争を繰^くり広げ、多くの負傷者が出ることも珍^{めずら}しくない。

「腿節（たいせつ、5つに分かれた昆虫の脚の3つめ）から上を負傷した場合、その脚を切断することになります」と、論文の筆頭著者で、ドイツ、ビュルツブルク大学の行動生態学者であるエリック・フランク氏は話す。「脚のもっと下を負傷した場合、驚^{おどろ}くことに、切断することはありません」

しかも、切断するかどうかにかかわらず、治療を受けたアリは、姉妹（働きアリはすべてメス）から遠ざけられて治療を受けられなかったアリより、(1) 高い確率で生き残る。

「脚を切断するという別の治療を行っているだけでなく、傷の状態を正しく診断^{しんだん}し、それに応じた治療を行っているのです」。

置き去りにされることはない

捕食者^{ほしき}に襲^{おそ}われると、トカゲは尾を、昆虫やクモは脚を捨てる。これらは自切^{じせつ}と呼ばれる防御^{ぼうえぎ}行動だ。一方、② フロリダオオアリの切断手術は全く別ものだ。

まず、傷ついたアリは喜んで治療を受けているように見える。

「彼らがこの切断手術に (2) 自由に協力しているのが印象的です」とフランク氏は話す。「片方（のアリ）が傷ついた脚を差し出し、もう片方が何分間も猛烈^{もうれつ}にかみついているが見えるでしょう……そして、傷ついたアリは文句を言っていないように見えます」

アリをはじめとする昆虫が痛みを感じるかどうか、どれくらい感じるかはまだはっきりしていないが、フロリダオオアリの治療選択^{せんたく}はうまくいっているようだ。腿節より下の部分を負傷した場合、コロニーの姉妹は傷を口で念入りにグルーミング^{*}したが、これはおそらく、致命的な感染症^{しんしょう}を引き起こす病原菌^{きん}を取り除くためだろう。論文によれば、下から2つめの腿節（けいせつ）を負傷した場合、巣の姉妹にグルーミングされたアリの生存率は約75%で、姉妹から離されたアリの生存率は (3) 15%だった。

同様に、腿節を負傷したアリは、切断手術の成功率が90〜95%だったのに対し、治療を受けなかった場合、約40%しか生き延びることができなかった。サンショウウオなどと異なり、アリの脚は失われたら再生しないため、生き残ることが目標^{めく}だ。

傷の手当てをするアリが目撃されたのはこれが初めてではない。フランク氏らは以前、シロアリを狩るマタベレアリには抗菌性化合物やタンパク質を生成する器官^{せん}（腺）があり、傷を負ったら、それらを (4) 塗^ぬることを発見している。

問一 (1) (5) に入れるのに最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 少なくとも イ わずか ウ はるかに エ どこまでも オ たっぷり

問二 部①「驚くことに、切断することはありません」とあるが、「驚く」理由として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 切断を担当するアリとそうでないアリに役割分担しているから。

イ 切断をしなくても、多くのアリが生存することが可能だから。

ウ 自分にとって一番良い治療を、負傷したアリが選んでいるから。

エ 負傷の程度を判断することで、治療の方法を変えているから。

問三 部②「フロリダオオアリの切断手術は全く別ものだ」とあるが、「別もの」であることの説明としてふさわしくないものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア トカゲや昆虫・クモは相手から身を守るための行動であるのに、フロリダオオアリは傷を治すための行動であること。

イ トカゲや昆虫・クモは自分の意志で切断できないが、フロリダオオアリは自分の意志で治療を受けるということ。

ウ トカゲや昆虫・クモは自分自身で切り離すのに対して、フロリダオオアリは仲間の協力によって切断するということ。

エ トカゲや昆虫・クモは仕方なくしているように思えるが、フロリダオオアリは自分から進んでしているように思えること。

問四 「③」に入れるのに最も適するものを次の5つの中から選び、カタカナを漢字に直して答えなさい。

【 シュウ ドウイツ コ シュタイ タヨウ 】

問五 モロー氏が 部④「とても興味深い発見」と考える、アリたちが集団で生活する上での新しい長所とはどのようなことか説明しなさい。

問六 部⑤「この証拠が提起した未解決の疑問」はいくつかあるが、そのうちのひとつを文中から四十四字で抜き出し、「～ということ」に続くように最初と最後の四字で答えなさい。

問七 モロー氏がいっていた 部⑥「1つの大きな疑問」はどのようなものであり、どのように解決されたか説明しなさい。

問八 この文の内容や表現の説明として適するものを次の中からふたつ選び、記号で答えなさい。

ア フロリダオオアリの生態を調べると、進化過程として理解できることが多くある。

イ フロリダオオアリの切断手術は、何時間にもわたって行われることがまれにある。

ウ 腿節を負傷して切断手術を受けたフロリダオオアリの生存率は九割以上である。

エ 読者が理解しやすいように、簡潔な文体により要点を分かりやすく説明している。

オ 擬人法を用いずに、野生生物から距離を置いて観察し、客観的に描写している。

カ 専門家の意見を直接引用することにより、今回の発見の偶然性を強調している。

三 □部の漢字が、例文A～Eと同じ意味で用いられているものをア～エから選り、記号で答えなさい。

A 苦手科目の特別講座を受ける。

ア 教室で自分の座席に着く。

ウ 努力の末に王座を勝ち取る。

イ お客さんよりも上座にすわってしまった。
エ 芸人の一座が地方を回る。

B 野党が政権の交代をもくろんでいる。

ア 党首による討論会が開かれる。

ウ よからぬことを企んで徒党を組む。

イ 正義の味方が悪党をこらしめる。
エ 戦に敗れた残党が逃げていく。

C 王様に仕えている貴人。

ア 貴重な話を聞いた。

ウ 貴下より本をお借りいたしました。

イ 貴兄のご栄転をお喜び申し上げます。
エ 貴族による政治が行われていた。

D 傷心のまま、やり過ごすしかない。

ア 一年前の負傷がいえない。

ウ 傷害事件を起こしてしまう。

イ まだ感傷にひたっている。
エ 病院に重傷者が運び込まれる。

E 田舎の古い家には土蔵があった。

ア とんでもないものを所蔵している。

ウ 図書館の蔵書は約八万冊だ。

イ 宝蔵には想像以上のものがあつた。
エ 内蔵されたスピーカーで聞く。

四 次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 公園で植物のヨウミヤクを観察する。
- 2 相手と同じドヒョウに上がるな。
- 3 新潟県は全国屈指のコクソウ地帯である。
- 4 ハンコツ精神を持って政治改革を行う。
- 5 シュジイに相談すべきだ。

